

# 夏休み 読書感想文 課題すいせん図書

伊丹市立荒牧中学校  
図書館  
平成30年6月発行

こちらで紹介した課題すいせん図書については、一斉貸出とします。

貸出開始日 **7月4日(水)** ※お昼休み

課題すいせん図書は数に限りがあります。借りたい人は早めに図書館へ。

## 課題図書



### 『一〇五度』 佐藤 まどか

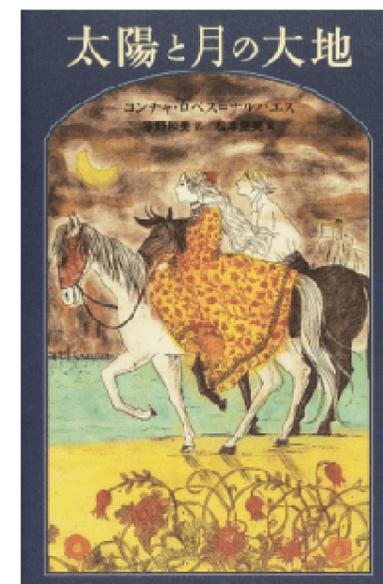
大木戸真は祖父の仕事であった椅子のデザイナーをめざす中学3年生。進級を節目に編入した都内の中高一貫校で出会った早川梨々と意気投合し、「全国学生チェアデザインコンペ」に挑戦する。

まわりの目を気にせず自分の生き方を貫く梨々。堅実なエリートコースを強いる父。体が弱く父母に溺愛されている弟…。

真はさまざまな人との出会いを通して柔軟な考え方を学び、梨々と協力してコンペの出品作をしあげていく。

理想の背もたれの角度「一〇五度」をめざす2人の  
“椅子オタ” ぶりがさわやかに描かれる青春小説。

今、将来の夢がはっきり決まっている人も、まだまだ悩み中の人も、特に何も考えてない人も、真くんの成長を通して、何かを感じ取ることができると思います。生きていく上で必要な強さとは何か？弱さとは何か？？タイトルにもなっている、理想の椅子の背もたれの角度『105度』は、背もたれの角度だけを示すものではないということ、この小説から読み取ってほしいです。



### 『太陽と月の大地』

コンチャ・ロペス=ナルバエス

なぜ、憎しみはつづくのか。

16世紀スペイン。キリスト教徒の伯爵令嬢マリアと、伯爵家に長年仕え友情を育んできたイスラム教徒の家に生まれた少年エルナンド。ふたりの間には恋が芽生えるが、やがて両家の人々は異なる宗教・民族間の対立に巻き込まれていく。悲惨な戦争の果てに、エルナンドは故郷を追われていく……。

宗教や民族の違いによって引き裂かれ、運命に翻弄される人々を描いた歴史小説。



スペインで長く読み継がれている物語です。

宗教問題、戦争や紛争の原因、悲恋に興味のある人向けですが、日本の歴史や宗教観とだいぶ違うので、16世紀スペインの歴史や時代背景等を調べながら読んだほうが、物語に入りやすく、感想文も書きやすいと思います。



### 『千年のたんぼ』 国境の島に、古代の謎を追いかけて

石井 里津子

日本海の荒波に浮かぶ、山口県・見島。この国境の小島に、15ヘクタールもの広大な水田が広がり、なんと約100個もの小さな溜池が点在している。その不思議な光景にひかれて島をおとずれた著者は、取材を重ねるうちにやがてそれが7世紀ごろの中央政府の手による「条里田」(中世に初めて国家事業として区画整備されたたんぼ)ではないかと考えるようになる。もし現存する条里田だとすれば、まさに日本最古のたんぼ。なぜそんな国家事業をこの小さな島で？ いったい誰の手によるものなのか？ 隣接する古墳が意味するものは？

取材を重ね、謎をひとつひとつ解きあかしながら日本人と稲作の深い関わりについていくノンフィクション。

日本では、当たり前のように白米が食卓にあがり、当たり前のようにたんぼがありますが、日本の稲作の歴史を知る人は少ないのではないのでしょうか？ 山口県見島を舞台に、地理学者や考古学者といった専門家や住民への取材を重ね、古文書や絵図など様々な資料を参考に、その歴史を紐解いていきます。農業や歴史、地域文化に興味のある人におすすめです。

